

平成31年度 行政評価事業別シート

	実計対象 <input type="checkbox"/>	評価対象 <input checked="" type="checkbox"/>	新規 <input type="checkbox"/>	完了事業 <input type="checkbox"/>	ゼロ予算事業 <input type="checkbox"/>	担当者	手塚寿彦
	全体計画			経費区分	-	内線	3781
事務事業名	4343 水防対策事業						
所 属	450100 消防本部・消防本部・消防署						
施 策	03021400 消防・救急体制の充実						
予算 科目	会計	01 一般会計					
	科目	090104 消防費・消防費・水防費					
	事業	010000 水防対策事業					
事業目的				事業概要・効果			
千曲川等の現地調査を行い重要水防箇所との把握及び水防活動方法を検討し、出水期を前に水防倉庫の点検及び管理委託を行い水防資機材を整備する				重要水防箇所の現地調査を関係機関と行い、協力体制を確認する。 水防資機材の点検を行い適正に整備する。			

PLAN-DO

年度実績及び予定

平成27年度 実績	平成28年度 実績
市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理	市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理
平成29年度 実績	平成30年度 実績
市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理	市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫14か所及び資機材の点検、維持管理
平成31年度 予定	令和 2年度 予定
市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫及び資機材の点検、維持管理	市内重要水防箇所の現地調査、対応の検討 水防倉庫及び資機材の点検、維持管理

指標名	-					
算式	-					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名	-					
算式	-					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					
指標名	-					
算式	-					
年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	平成31年度	令和 2年度	
目標値	目標					
	実績					
指標選定の理由	-					
最終年度目標の根拠	-					

事業費

(単位：千円)

		平成30年度 決 算	平成31年度 予 算
事業費		517	533
特定財源	国庫支出金	0	0
	都道府県支出金	0	0
	地方債	0	0
	その他	0	0
一般財源		517	533
人員数(人)	正規職員	0.2	0.2
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
人員コスト	正規職員	1,430.0	1,430.0
	嘱託職員	0.0	0.0
	臨時職員	0.0	0.0
	計	1,430.0	1,430.0
市民一人当たりの経費		0.0	0.0
総額		1,947.0	1,963.0

(単位：千円)

平成30年度決算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	196	重要水防箇所現地調査14 水防倉庫等の点検に対する出勤報償182
11節 需用費	32	水防資機材
13節 委託費	27	水防倉庫管理委託
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	262	水防工法用資材・原材料

(単位：千円)

平成31年度当初予算 事業費の内訳		
主な節	金額	内容
8節 報償費	198	重要水防箇所現地調査182 水防倉庫等の点検に対する出勤報償16
11節 需用費	33	水防資機材
13節 委託費	27	水防倉庫管理委託料
15節 工事請負費	0	
19節 負担金補助及び交付金	0	
その他	275	災害対応時の車両等借上5、水防工法用原材料270

CHECK

個別評価		
項目	評価観点	評価内容
必要性	<ul style="list-style-type: none"> 市民の生命・財産を守るため市が実施することが必要不可欠な事業であるか 行政内部の管理運営上必要な事業であるか 市が主体となり実施すべき事業か 法的な根拠や公的関与の妥当性はあるか 目的は結果（施策の目指す理想）に結びついているか 	必要不可欠
評価コメント	千曲川等の重要水防箇所を関係機関合同で確認し出水期に備える 水防倉庫及び資機材の点検整備・管理を行い、出水期に備える	
有効性	<ul style="list-style-type: none"> 事業の成果は上がっているか 目標に対する達成度は十分か 市民生活上の課題解決に貢献しているか 行政内部の管理上の課題解決に貢献しているか 事業の目的が達成できるような事業内容になっているか 	大変有効
評価コメント	関係機関が情報を共有し、災害対応で連携した活動を実施する 過去の災害対応において連携し、被害を最小限にできた活動実績を伝承共有する	
効率性	<ul style="list-style-type: none"> 成果を落とさずにコストを削減する方法はあるか 効率性向上に努めているか 使用料などの受益者負担や補助対象事業の範囲など、財源確保の余地はないか 	変わらない
評価コメント	必要最小限の予算で実施しており、現状を維持する	

振り返り（決算年度の取組み課題）
出水期前に水防資器材の整備を図り、発災時の活動に万全を期す

ACTION

1次評価

2次評価

次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続	次年度以降の方向性	総合計画に沿って継続
総合評価コメント		2次評価コメント	
出水期前に関係機関ほか地元区を含め重要水防箇所の点検ができた。また、水防倉庫の資機材点検ができた。 。 発災前に資機材の補充を行い、万全に整え、対応する。 。		<ul style="list-style-type: none"> ・国土交通省や地元区と連携し重要河川点検を毎年実施している ・水防倉庫の更新整備について研究を継続する 	

外部評価

次年度以降の方向性	
外部評価コメント	